

小諸新校 第四回ワークショップ

小諸高校と小諸商業高校が一体になり、新校として生まれ変わる小諸新校プロジェクトの第四回目ワークショップとして、小諸商業高校にて、ワークショップ「その後計画はどうになりましたか？」が開催されました。参加者は、小諸新校の校舎・施設に関する検討をおこなう「ワーキンググループ_D」のメンバーを中心として、体育科職員、司書を含めた計15名ほどの学校職員のみなさんと、小諸新校の設計を担当する通称「NOKS」から、西澤徹夫建築事務所 (N)、奥山尚史建築設計事務所 (O)、小坂森中建築 (K) でした。

今回は、各学校の教員・生徒のみなさんと実施した第二回目のワークショップでいただいたご意見を反映した既存校舎改修の案を複数用意し、新たな校舎についての現状の検討状況とあわせて、設計チームから説明をしました。なお、第二回目のワークショップまでのご意見を以下のように踏まえました。

- 1：普通教室 (CR) は南面に配置する
- 2：CR に近接してロッカーやグループワーク、昼食時のラウンジ等に利用できるフレキシブルラーニングエリア (FLA) を検討する
- 3：大職員室を設置しつつ、職員が目が行き届くように各所に先生コーナーも計画
- 4：定時制は2階までの階で計画
- 5：昇降口を撤廃 (= 上足を撤廃) し、1階にメディアセンターを計画



設計チームからの説明のあと、参加者で模型を囲みながら議論しました。テーマとしては以下2つです。

- A：既存校舎の普通教室 (CR) と大職員室の配置について
 B：1階部分の新棟/既存校舎の諸室の配置について

結論の結果の大まかな方向性としては、

- A**
- ①3CR でまとまりをつくる方向で進める。
 - ②トイレが混雑する懸念が解決すれば CR は南棟にまとめる方向で進める。
 - ③CR は 4F に配置でもよい。
 - ④管理のしやすさという観点から大職員室は 2F にまとめる。その際、2F にある定時制は選択教室との兼用も考えて 3F に配置することもありえる。
- B**
- ①ラウンジと地域連携協働室はもう少し一体的な利用を考える。
 - ②メディアセンターは昇降口棟・北棟西側に集約して司書さんの目が行き届きやすいような計画とする。クリエイティブラボはメディアセンターの東側とし、実習系をまとめる。



というご意見をいただき、設計を一步前に進められる有意義なワークショップとなりました。今後同年5月、6月にも引き続きワークショップを開催します。ご関心ある方はぜひご参加ください。

●次回

小諸新校 第5回 ワークショップ

小諸新校の設計、
ワークショップを経てどう変わった?

2023年5月29日(月)

●お問い合わせ

【主催】長野県教育委員会

【企画運営】西澤奥山小坂森中共同企業体 + 株式会社都市機能計画室 (通称: NOKS)

【問い合わせ】e-mail: komoro.workshop@gmail.com

その後計画はどうになりましたか？

小諸商業高校
会議室

2023

04

28

WED

15:00

17:00